

東洋製鉄が第三工場を新設

現地で地鎮祭・起工式

町の誘致企業・東洋製鉄出雲仁多工場では第三工場の増設を行うことになり、二月八日、現地で地鎮祭・起工式が行われました。

東洋製鉄は、平成三年に銑鉄、鋳物製造工場として進出し、平成七年には第二工場が増設され、現在では五十人を超える雇用となり、地域経済

の発展に大きく貢献されています。

昨年末、島根県の企業立地促進条例に基づき認定企業として認定書の交付並びに覚書の調印も行われました。

今回の整備では約一万平方メートルの敷地内に鉄筋平屋建て



▶ 第三工場建設予定地

二千四百四十六平方メートルの工場棟と木造平屋建て百九十五平方メートルの事務所棟が建設され、生産体制が拡大されます。なお既に新工場増設に伴う雇用も始まり、本稼働時には約二十人の新規雇用の拡大が見込まれています。

また町では、大規模林道に接続する「町道阿井公園線」を整備し、仁多工場と新設される第三工



▲ 音頭代表取締役社長による鍬入れ

場とが結ばれ、一層の効率化が図られます。

式には音頭宏紀代表取締役社長、町からは岩田町長など関係者が出席し、神事を行い工事の安全と事業の成功を祈りました。

主要地方道 玉湯吾妻山線 上市工区が完成

地元で竣工祝賀式

平成十三年から整備が進められてきた主要地方道玉湯吾妻山線の上市工区が開通し一月十四日、竣工祝賀式が行われました。

上市工区は馬木地区の西の玄関口として工事に着手され、道路延長三百六十メートル、幅員七メートル、二車線で総事業費約二億一千万円をかけて完成しました。

また小馬木川の付け替え、上市橋の新設も併せて行われました。

式典には糸原県議、櫻井仁多土木事業所長をはじめ多くの来賓と地元関係者約六十人が出席しました。

伊藤小馬木本郷開発促進協議会会長の挨拶に続いて岩田町長が「地元のご理解とご協力により、めでたく竣工の運びとなったことは、皆様方の地域活性化や町づくりに対する熱意の賜物です。今後地域の皆様の日常生活の上で大きく貢献するものと期待しています」と祝辞を述べました。

今回の整備により、吾妻山方面や馬木地区から仁多地域をはじめ松江市、出雲市へのアクセスが飛躍的に向上し、また児童の通学や車両の安全運行など地域の生活基盤が大きく拡充されました。



▶ 完成した上市工区